



平成 28 年 11 月

提案箱のご意見に対する病院からのご連絡

数多くのご意見、ご感想をお寄せいただきありがとうございました。ここに、ご意見についての実施状況または回答をご報告申し上げます。

皆さまからのご意見

上半身裸で、両手を挙げた姿勢で横になり、胸の上を何度も行ったり来たりして写す超音波検査を受けました。恥ずかしさをこらえての検査です。検査中に突然頭のほうのドアが「バン」と大きな音がして、他の人が入ってくるなり、相談事をはじめ、10分たっても話が終わりませんでした。その後検査技師が振り向き、「失礼しました」と胸にバスタオルをかけて、更に話が続きました。話が終わると入ってきた人は何も言わず出て行き、そのまま検査が続きました。病院では裸でいても当たり前のことかもしれませんが、患者は人ではないのでしょうか。あまりにもひどい対応に改善を願います。

当院の対応

今回は超音波検査室において、検査中に大変不愉快な思いをされたこと、お詫び申し上げます。

基本的に検査中の声かけ、入室は緊急時に限り許可しておりますのでそのあたりを今後は更に見直し、徹底していきたいと思います。裸で検査を受けていただくことは当たり前ではありませんし、その都度バスタオルなどを用いての配慮、また声かけにしてもしっかりと遂行していく方向です。

また各ミーティングの機会に、関係者全員でしっかりと反省を含め議論し、今後は患者様にご迷惑がかからないよう、その対策に向けて取り組んでいきたいと思っております。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

